

活動名		車いすバスケット体験			
概要	○障がい者理解及びパラスポーツ体験の一環として、車いすバスケットについて知り、スポーツを楽しむ。				
ねらい	○車いすバスケットボール（障がい者スポーツ）について知る。 ○障がいのある人もない人も誰もが楽しめるスポーツのよさを体感する。				
関連教科等	体育・総合				
指導形態	①「自主活動で実施」、②「職員は活動の説明のみ行う」、③「職員が指導を行う」				
時期	通年	時間帯	いつでも	対象	中学年～
場所	体育館	人数	～40人	所要時間	1～2時間
準備物	施設で準備できるもの			団体・個人で準備するもの	
	車いすバスケット用車いす14台、車いす扱い方説明書、移動式バスケットゴール1組、三角コーン、タイマー、電子ホイッスル、得点板、ヒプス、その他の障がい者スポーツ用品（Dアレンジコース参照）			動きやすい服装、体育館シューズ	
進め方・展開例					
内容			留意点		
活動前	○事務室で打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、班の数、活動の進め方 ・物品の受け渡し（準備物参照）			○自主活動で実施する場合は、説明書をもとに車いすや道具の取り扱い、片付け方やルール、マナーについて確認する。 ○1チーム何人でもよいが、14台を交代で使うので、人数が多いと一人当たりの使える時間が減る。	
活動の説明	○車いすの乗り方やベルトの装着等、安全に面について説明する。 ○活動しながら、ルールを確認する。			○はじめはルールを厳しくしすぎずに楽しむことを大切にするとよい。 ○待っている人が何をするかを決めておくとよい。 ○技術の習得状況や、ゲームの進行状況によって、ゲームの難易度を調整してもよい。	
展開	展開例				
	A じっくり慣らしていく 初めてコース ①車いすの乗り方 ②ジグザグでこぼこコース体験 ③車いすおにごっこ ④車いすりレー ⑤チーム対抗輪投げ対決		B ゲームを楽しむ 初めてコース ①車いすの乗り方 ②車いすおにごっこ ③車いすでパス練習 ④車いすラグビー風ゲーム （時間があればポートボール風ゲームも）		
	C 試合を楽しむ チャレンジコース ①車いすに慣れる活動 ②車いすでパス練習 ③車いすバスケット風ゲーム		D アレンジコース ・車いすバドミントン ・車いすポッチャ 【車イスを使わない障がい者スポーツ】 ・サウンドテーブルテニス ・ポッチャ ・ゴールボール		
まとめ	○活動中に感じたことや感想などを自由に話し合う。 ○みんなで車いすや道具の片付けや体育館の掃除をする。				
評価	○車いすバスケットボール（障がい者スポーツ）について知ることができたか。 ○障がいのある人もない人も誰もが楽しめるスポーツのよさを感じることができたか。				
発展	○利用者で臨機応変に活動を考えたり、ルールを変更したりして、難易度を調整するのもよい。 ○その他の障がい者スポーツ（Dアレンジコース参照）にも挑戦するとよい。				